



第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：崎元 英伸／副会長：野村 和義／幹事：芥川 圭一郎

2018～2019年度クラブテーマ

"アットホーム" 中央で良かった！

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：香月 章彦、田添 直記、大久保 厚司、岩政 孝、宮崎 祐輔、川島 千鶴、有吉 中

本日の出席率 72.1%：会員数 47名・出席 26名・欠席 12名・出席規定免除会員 5名・ビジター 1名
 前々回の修正出席率 83.72%：出席 25名・メイクアップ 6名・出席規定免除会員出席 5名



会長挨拶 / 崎元 英伸君



六月は「水無月」。田に水を引く「水月」です。和風月名は、旧暦の季節や行事、祭事に合わせてつけられていますので、実際の季節とは一か月ほどずれがありますが、季節の変化を感じられると思います。ご紹介してきました。ちなみに七月「文月」は七夕の時、短冊に文字を書いたことに由来するともいわれています。

本日の卓話のスペシャルオリンピックスは「知的障害のある人と共にスポーツを楽しむことを通じて社会の多様性と調和を目指す」ことをテーマとしているとのこと。

障害のある人となない人が共同でイベントを作ること、その多様性を認識していく活動は、佐世保中央ロータリークラブが、社会奉仕、青少年奉仕として取り組んできたものと通じるところがあると思います。今日のお話が私たちの新しい奉仕の機会となることを祈念します。



本日のビジター紹介

佐世保南RC 國崎 忠臣 様

Report 幹事報告 / 芥川 圭一郎君

1. 例会変更

*佐世保西ロータリークラブ

日時 6月25日(火) 18:30～

場所 セントラルホテル佐世保 ※新旧委員交代式の為

2. 来信

■ガバナーエレクト事務所

・マイロータリー・ロータリークラブセントラルセミナー

開催のご案内

日時 7月12日(金) 14:30開会 16:30閉会予定

会場 L&Lホテルセンリュウ

■地区大会実行委員会より

・2019-2020年度 地区大会事務局開設のご案内

諫早商工会館 ガバナーエレクト事務所内

committee

委員会報告

中央会 馬場 貴博幹事

2018 -2019年度、最後の中央会のコンペです。6月30日、佐世保カントリークラブ、スタート8時59分より。懇親会は香辣です、よろしくお願いいたします。



ニコニコボックス

佐世保南RC 國崎 忠臣様

メイクアップに来ました。お世話になります。梅雨・猛暑の季節、体調管理に気を付けましょう。

崎元 英伸会長・野村 和義副会長・芥川 圭一郎幹事

本日は佐世保南RCの國崎 忠臣様のご来訪を心より感謝申し上げます。

梅雨入り寸前の今日この頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか？体調を崩しやすい時期に突入しますので体調管理の程よろしくお願いいたします。本日は特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・長崎佐世保支部 代表 宮崎隆夫様により卓話です。楽しみにしておりますので、よろしくお願いいたします。

福田 英彦君

南クラブの國崎先生の来訪を歓迎します。大学の同級生で中央病院の院長を長く勤められて中央病院の発展に貢献された尊敬すべき同級生です。

山瀬 正久君

次男、裕正の結婚記念日が5月26日が幸いにも娘の誕生日となりました。元気に成長して欲しいと願ってニコニコします。

竹本 慶三君

経済産業省、中小企業庁で「はばたく商店街30選」に選ばれ表彰を受けました。

崎元 英伸君

竹本さん、「はばたく商店街30選」おめでとうございます。

芥川 圭一郎君

先日、第七管区海上保安本部交通部長の田中さんを表敬訪問しました。500mしかない関門海峡の緊張感ある無線信号のやり取りを見て来ました。貴重な体験に感謝です。

本日の合計	12,000 円
本年度の累計	785,000 円



本日の卓話

**スペシャルオリンピックス日本・長崎
佐世保支部代表 宮崎 隆夫 様**

スペシャルオリンピックスについて

佐世保でこの活動を開始して15年目になります。そして私自身が陸上競技のコーチでもあります。また、私の子どもに知的障害があることからこの活動を始めました。



1968年、故ケネディ大統領の妹“ユニス・シュライバー”は、当時スポーツを楽しむ機会が少なかった知的障害のある人たちにスポーツを通じ社会参加を応援する「スペシャルオリンピックス」を設立。“ユニス”は活動を通じ、知的障害のある人たちの可能性を実現し、彼らに対する社会の否定的な固定観念や差別的態度を変えるため、その生涯を捧げました。彼女が生涯貫いた信念は、50年たった今も確実に社会を変える動きとして世界に広がっています。(SONホームページより)

地区組織として「特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・長崎」があり、長崎、佐世保、諫早、五島、大村で220人のアスリートが活動しております。ここにおいでの方の福田英彦様には、この法人の理事としてご協力をいただいております。

佐世保でのスペシャルオリンピックスについてお話しします。2004年に佐世保でトレーニングを開始しました。佐世保では4競技、競泳、陸上競技、バドミントン、ボウリングを月に2回の日曜日、2時間程度行っていますので、写真でその様子をご覧ください。地区大会（県大会）にはほぼ全員が毎年参加しています。ナショナルゲームは、2010年から4年ごとに数人ずつ出場しています。世界大会に出場した2007年上海1人、2011年アテネ2人は、佐世保市長に表敬訪問と報告を行いました。

知的障害者の特徴として、言葉の発達が遅れる、物事を理解するのに時間がかかる、集中が長続きしないなど多くありますが、人によって違うこともあり、一応の目安と考えてください。

アスリートは、障害の程度も様々で、軽い人からファミリーの手助けを要する人までおります。最初の頃は、練習場に入ることができずに外から眺めるだけだった人が、今ではトレーニングの日を待ち望んで、雨で中止になるととても残念がると聞くようになりました。

大会は全員表彰とし、金・銀・銅のメダルと4位以下はリボン

を授与します。アスリート達はとても嬉しそうです。

「パラリンピックとの違いについて」

パラリンピックで行われている競技は、主に身体に障害のある人を対象としており、知的障害のある人が出場できるのは、水泳競技、陸上競技、卓球、テコンドーの4種目のみです。また、パラリンピックは国際パラリンピック委員会の定めた厳しい選考基準をクリアした人たちが競い合う、世界最高の障害者スポーツ大会です。

一方、スペシャルオリンピックスは「日常的なスポーツトレーニングプログラム」を基本とする、活動のことを言います。大会・競技会は、それぞれの努力と成長を、確認し称賛する場であり、トレーニングと大会は車の両輪として、両方が大切なものです。

スペシャルオリンピックス参加者の300人アンケート結果について説明します。

入会前の休日の過ごし方としては、パソコン・スマホのゲーム、テレビを見るなど、街を出歩くなどが多かったものの、プログラムを数年続けてきて、積極的になった。体力が向上した。友達などとのきずなが強まったとの回答が多くありました。

今後の活動を広げていくために、スペシャルオリンピックスを知ってもらう必要があるものの、日本での認知度は12%に過ぎません。そして、そのためにはコーチ、ボランティアを増やさなければならないので、広報活動、イベント、研修会、大会の開催を行っていきます。本年11月に長崎で「九州・沖縄ブロック大会」が開催され、2020年は佐世保でコーチ研修会、陸上競技誓いの開催などを計画いたします。また、会員拡大、助成金、自主財源の取り組みも大切であると考えます。

私達の活動のあらましをご理解いただけましたでしょうか。できますならばスペシャルオリンピックスに今後のご支援をお願いしたいと思っております。



SAA: 宮崎正典君
次回例会／6月13日18:30～